

手入れ不足の人工林を間伐により整備した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：庄原市

取組のきっかけ・経緯

・当森林組合の施業履歴から、こしばらく手入れをしていない森林を洗い出し、現地調査を行った結果、間伐が必要な森林が見つかった。
所有者と話し合いを進めた結果、当事業による施業を行うこととなった。

今後の展開

・今回の間伐で不良木の間引きはほぼ完了した。次回は収入間伐を行い、山林所有者に収益を得てもらう。
・該当森林までの路網はあるが、整備が必要であり、山林内の作業道も新設する必要がある。
・該当森林は水源涵養保安林であり、周辺にはほかにも同様の人工林が多くある。それらと共に広域での森林整備を行っていき、保安林としての機能も高めていく。

取組の内容

- ・事業主体：庄原市
- ・実施場所：庄原市東城町内堀
- ・業務委託先：東城町森林組合
- ・業務量：14.71ha
- ・業務金額：7,059千円
- ・業務期間：令和5年2月7日～3月6日

【整備前】



【整備後】



取組後の感想

【良かった点】

・施業後は適切に光が射し込む状態になっており、残存木の更なる生育と水源涵養機能の向上、または下層植生の繁茂による土砂流出防備効果も期待できる。

【悪かった点】

・降雪の多い地域であり、残存木が強靱になるまでの間に風雪害(倒木)が心配される。

【整備の様子】



害獣の潜み場所であり、住宅へ傾倒する竹林を整備した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：庄原市

取組のきっかけ・経緯

・住宅へ裏山の竹が倒れてきて困っていると相談があった。話を聞くと、家の横の畑に獣が進入して困っているともいう。当事業を提案し、施業に至った。

今後の展開

・丁寧な棚積みができたので所有者による手入れがし易く、竹の子や灌木を切除し維持管理していく。
・山の裏側へも竹林が繁茂していきっており、引き続き一帯的な整備を行っていく。

取組の内容

- ・事業主体：庄原市
- ・実施場所：庄原市東城町栗田
- ・業務委託先：東城町森林組合
- ・業務量：0.60ha
- ・業務金額：1,104千円
- ・業務期間：令和5年1月18日～3月20日

取組後の感想

【良かった点】

・県道に面しており、景観改善による視覚効果が大変高かった。そのことにより、事業地を目にした第三者からの問い合わせが複数あった。
・所有者によると、畑への獣害や周辺の糞害が減ったとのこと。
・竹林の中に古い無縁墓があり、お参りすることができた。

【悪かった点】

・直径20cmを超える大きな孟宗竹が多く、牽引しながらの作業となり大変な手間を要した。
・急傾斜地であり、また電線や住宅も近く、災害や物損のリスクが高かった。

【整備前】



【整備後】

